

講義名	ドイツ語入門A		
科目区分	選択外国語		
担当教員	海老原 由美子		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 4時限		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	44007

主題と概要

ドイツ語を学ぶことはドイツを知ることです。ドイツってどんな国？ドイツ人ってどんなことを考えてる？ドイツ語を学びながら皆で語り合います。クラスメートには "Hallo"、目上の人には "Guten Tag!" と挨拶することからスタート。ドイツに留学した Seiko に自分を重ね合わせて、自己紹介したり、家族や友人を紹介したり、欲しい物や必要な物を言ってみましょう。町へ出て、様々な商店や銀行へ郵便局にも行ってみましょう。実際に使える身近な表現を学んだ後に、文章の規則性に気づく。このプロセスを大事にして文法を学びます。まずは表現を学び聞き、声に出して体験学習し、文法へ。すべて、ペアがグループワークとなります。なお、「ヨーロッパのことばと文化」の講義でも、ドイツ語圏の生活事情や文化、ことばについて知ることができます。

到達目標

自己紹介や他者の紹介では、様々な動詞をトレーニングすることで、名前、出身、住まいの場所、職業、年齢、趣味、好きな飲み物が言えるようになります。その際、数字やアルファベットも導入します。また、身の回りの事物、商店や施設の名詞をトレーニングすることで、ドイツ語の大きな特徴の一つである名詞の仕組みをマスターします。その際、時刻を導入します。繰り返し発音する機会を作ることで、しっかりした発音を身につけます。

提出課題

毎回の授業の復習として、教科書に添付されたワークシートはもちろん、教科書の内容を補うワークシートの提出が課題となります。週に一度の授業ですので、この課題提出は評価の重要なポイントとなります。

評価の基準

平常点（出席 - 15%、提出物 - 25%、小テスト - 10%）50%、筆記試験と口頭試験 50%

履修にあたっての注意・助言他

教科書（ワークブック付き）は毎回の授業に必ず持参してください。聞き取りに力を入れますので、CDを聞くことを習慣つけてください。音に慣れることが一番だからです。ペア、グループでのワークが中心ですから、互いに助け合って、自発的に授業に参加すれば、力をのばすことができます。

教科書

『CD&ワークブック付きベーシック版自己表 板山真由美 塩路ウルズラ 三修社 2800円 978-4-384-
現のためのドイツ語<プラス>』 本河裕子 吉満たか子

プリント資料及び参考文献

<推薦辞書・サイト>
アガロン独和辞典 同学社 / 辞書サイト glosbe

授業計画

- 1回 L1 ドイツへ 挨拶&自己紹介、機内での会話
- 2回 L1 ドイツへ 機内での会話・好きな飲み物・苦みな飲み物
- 3回 L1 ドイツへ 私の職業は学生です。あなたは？
- 4回 L1 まとめとミニテスト
- 5回 L2 ホストファミリーでの第1日目 きょうの調子はどうですか？
- 6回 L2 ホストファミリーでの第1日目 空港で出迎えてくれたオリバーとの会話
- 7回 L2 ホストファミリーでの第1日目 オリバーと互いの家族を紹介しあう
- 8回 中間テスト 筆記と口頭
- 9回 L3 新しい環境 私の部屋と部屋にあるもの、なくて必要なものを言う
- 10回 L3 新しい環境 メールの書き方
- 11回 L3 新しい環境 このランプをどう思う？ 身の回りの物についての感想を聞く&答える
- 12回 L4 Seikoは町に行きます この近くに郵便局はある？
- 13回 L4 Seikoは町に行きます 今日の午後何をしますか？
- 14回 L4 Seikoは町に行きます 今は何時ですか？/ Seikoは10時半に何をしますか？
- 15回 まとめと期末テストの準備

予習・復習

復習を重視します。復習プリントを必ず課題とします。それが次回の授業への理解に繋がります。短時間でもよいので、毎日ドイツ語に触れる習慣をつけてください。一日に一度は教科書を開く。CDを聞く。授業でトレーニングした会話を音読する、新しく学んだ単語を書き出すなど、いろいろな方法があります。

備考

一回目の授業には必ず出席してください。履修への注意事項やアドバイス、授業の進め方など重要事項を説明します。受講生の理解度に応じて、授業の進度を調整したり、授業や課題の内容を変更する場合があります。全体として、発音を重視しますので、授業中の発音練習・会話練習に積極的に参加してください。